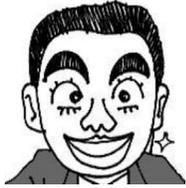


第5号



日本共産党区議会議員  
Japanese Communist Party

安藤たい作  
ニュース

# 安藤たい作・品川区議補欠選挙で当選 「貧困と格差」の拡大、許しません!

13805票、第2位。  
日本共産党八議席で単独第二党



## 公約実現に向けて頑張ります。

おりしも、安倍新政権が誕生したタイミングでの選挙。この5年半に及ぶ小泉「構造改革」政治は「貧困と格差」を拡大し続けてきました。私が今回の選挙で正面から訴えたのは、政治・区政がいかにしてわたしたちの暮らし・福祉・未来を守っていくのか、ということでした。具体的には、

- ① 急激な狙い撃ちの大増税に苦しむお年寄り・障害者の方を守る緊急負担軽減策を住民税増収分14億円で創設
- ② 厳しい雇用・労働状況にさらされている若者を区がしっかり支えるべき。雇用実態調査の実施と、区は正規職員雇用の拡大を
- ③ 税金のあきれた使われ方・税金（政務調査費）での飲み食い、海外調査という名の税金大名旅行をストップ

以上「三つの約束」を辻つじで訴えさせて頂きました。自らの四年の派遣労働の経験で感じたのは、働くルールを横暴にぶつ壊し、はたらく人たちのいじめぬいてきた財界・大企業への怒り。それを是正するどころか後押しして「貧困と格差」を拡大する先頭に立つ政治への怒り。こうした自らの実感を込めてマイクを持つようになってから、手ごたえを感じはじめました。他党候補者がイメージ戦略・「連呼」選挙を展開する中、「政策」を伝えることに誠実に取り組む日本共産党の選挙戦はまさに「民主主義」街道まっしぐら。雨にも風にも台風にも負けず、傘を5本おしやかにしながらも訴え抜きました。今後は、選挙中訴えた公約実現に向け全力で頑張りたいと思います。